

もつと分かる能楽講座 徹底解剖!

# 能 鞍馬天狗

# 船弁慶

前後之替



一噌隆之 柿原弘和 観世喜正 観世元伯 宮増新一郎

「能」初めての方、歓迎します。

毎回ご好評を頂く神遊ワークショップ。21世紀にまずお届けするひなまつり公演は、かわいい子方が勢揃いの『鞍馬天狗』と、みどころ満載のスペクタクルな能、おなじみ『船弁慶』です。演者手作りのテキストを無料でお配り致します。楽しく、詳しいワークショップの後、初めての方はもちろん、通の方にも見ごたえのある神遊の能をご堪能ください。

## 第一部 ワークショップ (昼の部・夕方の部共通/約20分ずつ)

### I. ストーリーを知る

はたしてどういお話なのか?みどころもここでチェック!  
(「船弁慶」では、小書の意味や替の演出の効果についても解説があります)

### II. 囃子の魅力

四拍子の奏でる効果を、演者がみずから解説します

### III. 装束を着る

普段は楽屋で行なう、後シテの面・装束付けの一部を舞台上でご覧いただきます

## 第二部 「能」を観る

昼の部「鞍馬天狗」/夕方の部「船弁慶」

### あらすじ

**【鞍馬天狗】** 平家全盛の春、京都 鞍馬山は今を盛り of 桜の下、西谷の能力(アイ)の招きに東谷の僧(ワキ)が稚児たち(子方)を連れて花見に向かう。能力が舞を舞うなか、山伏(前シテ)が現れてその興を妨げたので、一同は牛若丸(子方)一人を残して去る。源義朝の遺児であるため仲間に疎まれていた牛若を慰め打ち解けた山伏は、天狗であることを名のり、また会う約束をして雲間へ去る。牛若が凜々しく薙刀片手に待っていると、大天狗(後シテ)が現れ、兵法の秘伝を授け、源氏再興を予言して立ち去ろうとする。袂を離さない牛若を抱き寄せた大天狗は、平家討伐の折には力を添えると約束し、鞍馬の梢に去って行く。牛若丸が天狗に兵法を授けられたという説話をもとに、「恋慕なり」と古記に記された大天狗と牛若丸の熱い情を描いた、色彩豊かな情景設定の曲。立ち並ぶ可憐な稚児やアイ狂言の小舞も楽しめます。

**【船弁慶】** 平家を滅ぼし意気揚々と都へ戻った源義経(子方)だが、兄頼朝に嫌疑をかけられ、西国へ下ろうと決意する。攝津国大物の浦で、弁慶(ワキ)のすすめによってここまで同行した恋人 静御前(前シテ)を都へ帰すことになり、名残の酒宴で静は、義経の不運を嘆きながらも別れの舞を舞う。一行が船を出すと海は荒れ始め、壇の浦に滅んだ平知盛(後シテ)や平家一門の亡霊が波間に現れる。平知盛は薙刀を振り回して義経主従に襲いかかるが、やがて弁慶に折り伏せられ退散する。同じシテが全く違う人物を前後で演じ分けます。船頭(アイ)の掛声やお囃子の波風の表現など、見せ場がたくさん的人气曲です。

### 【昼の部】 鞍馬天狗

前シテ/山伏  
後シテ/大天狗

子方/牛若丸  
/花見稚児

ワキ/東谷の僧  
間/西谷の能力  
/木の葉天狗

観世喜正  
中森慈元  
柿原孝則  
柿原千紘  
清水晶子  
鈴木規裕  
森 常好  
大蔵吉次郎  
善竹富太郎  
善竹大二郎  
大蔵教義  
観世喜之  
中森貫太  
松木千俊  
奥川恒治  
古川 充  
小島英明  
坂真太郎  
桑田貴志

後見  
地謡

### 【夕方の部】 船弁慶

前後之替  
前シテ/静御前  
後シテ/平知盛の幽霊

子方/源義経  
ワキ/武蔵坊弁慶  
ワキツレ/義経の家来  
アイ/船頭

観世喜正  
松木崇俊  
森 常好  
館田善博  
善竹十郎  
観世喜之  
桑田貴志  
松木千俊  
中森貫太  
奥川恒治  
佐久間二郎  
長山耕三  
坂真太郎

後見  
地謡



【船弁慶】静御前・観世喜正

平成13年3月3日(土) 神楽坂・矢来能楽堂 東京都新宿区矢来町60 Tel.03-3268-7311

昼の部 『鞍馬天狗』 開演:午後1時(開場正午)  
夕方の部 『船弁慶』 開演:午後4時半(開場予定 3時45分) \*入替制

正面指定席 4500円 脇正面自由席 3500円 学生席 1500円(チケットぴあのみ取扱 脇正面後部限定20席)

一般予約開始/1月22日 チケットぴあ発売日/1月25日 (club神遊会員:優先予約・割引あり/会員随時募集!)  
お申込お問合せ/神遊 03-5227-1830 (Tel & Fax) kamiasob@wc4.so-net.ne.jp  
チケットぴあ 03-5237-9988 @ぴあ http://www.pia.co.jp

